



若さでがんばってます

232

今回は上区の

熊谷 幸子さん(20歳)

を紹介します。

「結婚は早めにしたいです」

今までは。

普代中学校卒業後、地元の水産加工場でワカメや昆布の仕事など経験し、今は広樹野でお世話になって五か月になります。

仕事の内容は。

仕込みなど手伝ったりしますが、主に接客が私の担当する仕事です。

職場で心掛けていることは。

オーダーをとるとき、間違えないように、いつも心掛けています。

今の仕事に就いた理由は。

地元で働きたかったからです。仕事が終わる日は何をしていますか。

家でまったりしてるか、友達と遊んでます。

今、してみたいことは。

特に、ないです。

趣味、特技は。

趣味は……いい。特技も……いい。

好きな言葉(信条)は。

まったり。

理想の男性像と結婚は。

自分が好きになった人が、理想の人です。結婚は早めにしたいです。

将来のあなたは。

かっちょいい、おばちゃんになります。

ます。

これからの村に期待するものは何ですか。

若い人が遊べる所をつくって。

最後にあなたのPRを。

いつも、うるさくてすみません。

次回はどなたを紹介してください。

旭区の日野弥生さんです。

『心のめばえに』

ほほえみを

平井 信義

子育ての秘訣は、幼児期のうちに「思いやり」と「やる気」を育てること。そのカギは日常の親の接し方にあると、問い掛けた一冊です。幼児をもつお母さん、「子育て、幸せですか」。(企画室)



『アルジャーノンに花束を』

花束を

ダニエル・キイス

脳外科手術で常人以上の知能を持つ天才に変貌した



チャーリーは、実は三十二歳で幼児の知能しかない人間だった。ネビュラ賞受賞作品で、人生の哀歓を、繊細な感性で描きだした感動作。(早川書房)

『2歳から5歳まで』

チュコフスキー



わが国のお母さん方や教師たちが、子どもの育て方について、今ほど悩んでいる時代はありません。本書は、「子どもから学ぶ」という明るく楽天的な育児法を打ち立て、「今こそ精神の育児学として」と、声高らかに提唱しています。(理論社)

『そして、トンキーもしんだ』

たなべ まもる

太平洋戦争のさなか、上野動物園で飼育していた

「ゾウ」や「しろくま」などの動物を、戦争のために殺さなければならなかった悲しくて、辛い真実を、次の世代へしっかりと伝えたいと作られた絵本。(国土社)

